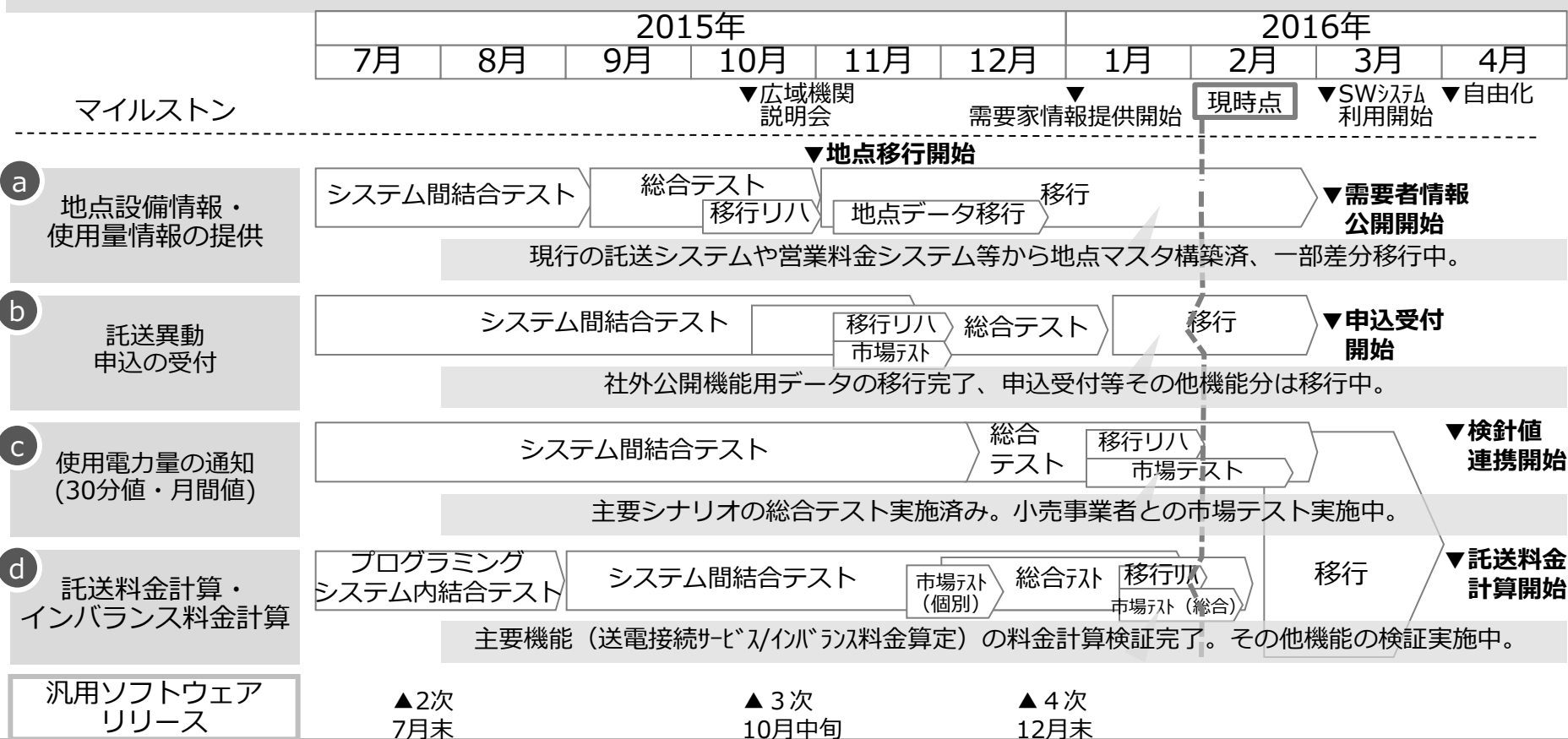


託送業務システムの開発状況について

2016年2月9日
東京電力株式会社

現在の開発状況と見通し

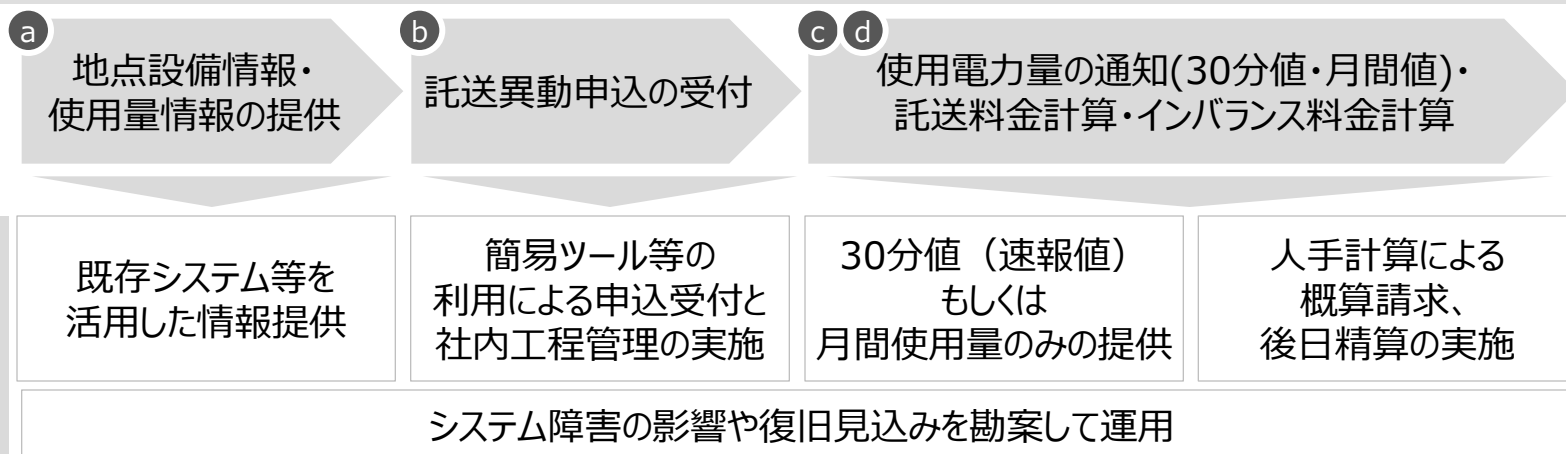
- 現在、開発工程に大きな遅延はなく、テスト・データ移行工程を実施中。
- 総合的なシステムテストを進める中で、機能の確認は出来つつあるが、性能をはじめとした品質は運用開始まで継続して確認する予定。
- 例えば、託送異動申込が集中した場合などでも、電力自由化に支障を与えないよう、小売事業者や電力広域的運営推進機関に協力を仰ぎつつ業務を遂行できる見込み。



今後のリスクを踏まえた暫定対応策の準備について

3

- 開発と併行し、システムトラブル発生時の暫定対応策の策定や体制整備を推進。
- リスク顕在化時において、暫定対応策等を適用しながら可能な限り業務を継続出来るよう、課題の洗い出しと対応策の検討を継続的に実施し、実運用手順を確認中。
- 実運用手順の有効性については、総合訓練にて確認予定。



暫定対応方針

暫定対応の検討課題

検討済み

- 業務に必要なデータの選定・入手先
- 業務の成果（アウトプット）の設定
- 業務の担い手の選定
- 業務の手順、ツールの準備
- 業務の頻度・スケジュールの決定

現在検討を進めている事項

- リスク発現の検知、暫定対応策の開始に伴い、関係事業者や広域機関へ、必要な情報の的確な周知
- 暫定対応策が有効に機能するか総合訓練にて確認(実運用手順を確認中)